

科目名	農業基礎概論		科目番号	基-1
担当教員	校内教諭	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業技術の習得や講義の理解に必要な事項、用語などについて、重要な基礎知識を修得する。			
授業概要	①農業を学ぶ上で必要な基本的な事項について学ぶ。 ②日本および香川県の農業の現状と課題、農業の基本技術や専門用語など、基礎的事項を幅広く学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	はじめに		
	第2時限	植物の性質と栽培のきほん		
	第3時限	野菜についての基本事項		
	第4時限			
	第5時限	農業の源＝植物の光合成		
	第6時限	栽培技術と管理のきほん		
	第7時限	土・肥料の役割と土壌管理		
	第8時限	病虫害防除のきほん		
	第9時限	果樹についての基本事項		
	第10時限			
	第11時限	農業による地域活性化		
	第12時限	香川県のブランド戦略		
	第13時限	花きについての基本事項		
	第14時限			
	第15時限	農業に必要な計算問題		
	第16時限	テスト		
テキスト、参考書	図解でよくわかる農業のきほん(誠文堂新光社、堀江武) 最新版図解知識ゼロからの現代農業入門(家の光協会、八木宏典) 改訂日本農業技術検定3級テキスト(全国農業高等学校長会)ほか			
成績評価法	試験、レポート、出席状況、授業態度により評価する			
その他	テスト等、評定の総括は副校長			

科目名	作物学		科目番号	基-2
担当教員	相澤美里、河原望遥	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	6～7月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	作物の植物学的特性や栽培技術の基礎知識・応用能力を養う。			
授業概要	水稻及び麦類の品種、生理生態、栽培管理など基礎的事項について幅広く講義する。			
授業計画	第1時限	水稻の品種と生理生態		
	第2時限			
	第3時限	水稻の栽培管理		
	第4時限			
	第5時限	麦類の品種と生理生態		
	第6時限			
	第7時限	麦類の栽培管理		
	第8時限			
テキスト、参考書	作物講義資料を配布する。			
成績評価法	試験の成績により評価する。			
その他				

科目名	畜産概論	科目番号	基-3
担当教員	齊藤武司	科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年	開講時期	4~5月
単位数	1	必須・選択の別	必須
授業目標	畜産以外の他コースの学生に対して畜産の基礎知識を理解させる。同時に畜産コースの学生に対しては、畜産分野の各科目を概論的に学ばせ、畜産コース各科目の講義内容に反映させることで、より理解を高めることを目標とする。		
授業概要	乳用牛や肉用牛、養豚や養鶏を通して、日本および香川県の畜産の現状と課題、畜産の基本技術や専門用語などの基礎的事項を幅広く講義する。		
授 業 計 画	第1時限	日本畜産の特徴と動向、香川県畜産の現状	
	第2時限	人間生活と畜産物の役目、家畜の疾病	
	第3時限	牛の特徴と品種、乳牛と肉牛のライフサイクル	
	第4時限	豚の特徴と品種、豚のライフサイクル	
	第5時限	鶏の特徴と品種、採卵鶏・肉用鶏のライフサイクル	
	第6時限	家畜ふん尿処理と有効利用、香川県家畜ふん堆肥の現状	
	第7時限	耕畜連携と飼料イネの活用、アニマルウェルフェア等	
	第8時限	テスト	
テキスト、参考書	香川の畜産、畜産関係資料(プリント)等		
成績評価法	主に試験の成績により評価する		
その他			

科目名	遺伝子資源活用概論		科目番号	基-4			
担当教員	植田早紀、多田祐真、藤井詩乃、山下泰生、山本実奈	科目区分	基礎教育科目				
対象学年、コース	1学年	開講時期	12～1月				
単位数	1	必須・選択の別	必須				
授業目標	生物工学の農業、特に園芸における役割、技術的内容等についての理解を深める。						
授業概要	生物工学の背景となる知識・技術、生物工学の農業分野(特に園芸分野)への応用などについて講義する。						
授 業 計 画	第1時限	生物工学(バイオテクノロジー)概論(テスト含む)					
	第2時限						
	第3時限				作物における研究概論(テスト含む)		
	第4時限						
	第5時限				野菜・花きにおける研究概論(テスト含む)		
	第6時限						
	第7時限				果樹における研究概論(テスト含む)		
	第8時限				オリーブにおける研究概論(テスト含む)		
②1回に2時限分を実施する							
テキスト、参考書	[農学基礎セミナー]植物バイテクの実際(農文協、大澤勝次ほか)、補足資料を適宜配布する						
成績評価法	試験の成績に出席状況や受講態度を加味し評価						
その他							

科目名	林業・造園概論		科目番号	基-5
担当教員	増田拓朗(香川大学名誉教授)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	11~12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	林業と造園のつながり、森林のはたらき、林業の役割、造園の歴史と役割について理解する。			
授業概要	林業と造園のつながり、森林の種類と分布、森林のはたらき、林業の役割、及び日本庭園・西洋庭園及び都市公園・自然公園の歴史と現況について基本的な事項を学習する。			
授 業 計 画	第1時限	授業の方法と内容について説明する。 林業と造園のつながりについて説明する。		
	第2時限	森林の種類と分布(基本的な森林の種類と分布、植生遷移など)、森林のはたらき及び林業の役割について学ぶ。		
	第3時限	造園とは何か(庭づくりから環境形成まで、造園分野の基本的な役割)について学ぶ。		
	第4時限	日本庭園(庭園様式の歴史的変遷と特徴)について学ぶ。		
	第5時限	西洋庭園(庭園様式の歴史的変遷と特徴)について学ぶ。		
	第6時限	都市公園(都市公園の成立と発達の歴史、都市公園の役割)について学ぶ。		
	第7時限	自然公園(自然公園の成立と発達の歴史、自然公園の役割)について学ぶ。		
	第8時限	試験		
テキスト、参考書	プリントを配布する。			
成績評価法	試験、レポートを総合して評価する。			
その他				

科目名	植物防疫		科目番号	基-6
担当教員	西村文宏、川田千瑛、片山貴博		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年		開講時期	4～5月
単位数	1		必須・選択の別	必須
授業目標	病害虫の発生要因の理解、病害虫の種類及びその発生生態とともに防除技術を学び、植物防疫の総合的な知識を習得する。また、農業についての基本的な知識を習得する。			
授業概要	病害虫の生態等を種類ごとに紹介し、その見分け方と防除法を解説する。農業の安全で効果的な使用方法について、栽培と関連づけながら防除体系作成法等を紹介する。			
授業計画	第1時限	病害虫概要		
	第2時限	農業の種類とその作用・安全で効率的な使用方法		
	第3時限	害虫の種類と形態および昆虫の生理		
	第4時限	様々な害虫防除		
	第5時限	病原の種類と性質(細菌、糸状菌、ウイルス)		
	第6時限	病気の診断、抵抗性、防除方法		
	第7時限	病気の被害予測		
	第8時限	テスト		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	印刷資料を配布			
成績評価法	テスト			
その他				

科目名	雑草学		科目番号	基-7
担当教員	山下泰生、吉田有梨花、村上裕一		科目区分	一般教養科目
対象学年、コース	1学年		開講時期	6～7月
単位数	1		必須・選択の別	必須
授業目標	雑草に関する知識を深め、雑草管理、雑草防除技術を身につけることを目標にする。			
授業概要	各作物に関する雑草の種類やその特徴、防除技術など幅広く講義する。			
授 業 計 画	第1時限	吉田：雑草学概論		
	第2時限	吉田：麦作における雑草管理(+小テスト)		
	第3時限	吉田：水稲作における雑草管理		
	第4時限	吉田：水稲作における雑草管理(+小テスト)		
	第5時限	村上：野菜栽培における雑草管理		
	第6時限	村上：野菜栽培における雑草管理(+小テスト)		
	第7時限	山下：果樹園地における雑草管理		
	第8時限	山下：果樹園地における雑草管理(+小テスト)		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	特になし			
成績評価法	小テストを4回行い、100点満点で評価(各25点満点)			
その他				

科目名	土壌肥料		科目番号	基-8
担当教員	阿部政人、松本匠哉、多田寿和子	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4～6月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	農作物の生育に必要な養分や水分を供給する土壌及びこれらを補完する肥料について、その基礎的な知識を学ぶ。			
授業概要	土壌の生成やその構成成分、作物と土壌の関係などの土壌学の基礎事項及び作物の栄養分とその吸収システム、肥料の種類や施肥技術などの肥料学の基礎事項を講義する。			
授 業 計 画	第1時限	作物の必須元素		
	第2時限	作物の養分吸収		
	第3時限	肥料の分類とその種類		
	第4時限	各肥料の特徴と使用方法		
	第5時限	施肥の概念		
	第6時限	施肥技術と施肥設計		
	第7時限	施肥設計演習		
	第8時限	テスト		
	第9時限	土壌の生成と分類		
	第10時限	土壌の無機成分と有機成分		
	第11時限	微生物のはたらき(窒素循環と酸還元反応)		
	第12時限	養分を保持するはたらき		
	第13時限	土の酸性と中和		
	第14時限	作物の吸収する養分		
	第15時限	復習など		
	第16時限	テスト		
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	土づくりと作物生産(日本土壌協会)			
成績評価法	主に試験の成績で評価			
その他				



科目名		有機農業		科目番号	基-9
担当教員		平木孝典	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース		1学年	開講時期	10月	
単位数		1	必須・選択の別	必須	
授業目標		環境保全や消費者ニーズの高まりなどに対応した有機農業(特別栽培を含む。)の基礎知識を習得する。			
授業概要		有機農業等に取り組むに当たって必要となる知識及び有機農産物等の生産流通の現状並びに有機JAS取得手続きについて講義する。			
授 業 計 画	第1時限	有機農業の現状[有機農業とは、現状、課題]			
	第2時限	有機農産物の規格[JAS規格の概要、認定手続き]			
	第3時限	土づくりの意義[土づくりの考え方、方法]			
	第4時限	土づくりの実際[土づくりの資材、土壌診断]			
	第5時限	有機農業の基本技術[病害虫、雑草防除法]			
	第6時限	本県の有機農業の現状[県内の取組み者紹介]			
	第7時限	有機農業による栽培事例・制度紹介			
	第8時限	テスト			
②1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書					
成績評価法		主に試験の成績で評価			
その他					

科目名	農業気象と環境		科目番号	基-10
担当教員	松田 周(西日本農業研究センター)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	11～12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	一般気象学の基本知識、作物と気象のかかわりについて理解させる。			
授業概要	グローバルから農地規模までの気象学の基礎、気象測定法、気象と作物生産の関係、昨今の農業気象問題について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	農業気象研究の立場から		
	第2時限	気象学基礎		
	第3時限	気象要素と測器		
	第4時限	農地の微気象と作物生産(1)		
	第5時限	農地の微気象と作物生産(2)		
	第6時限	異常気象と農業気象災害		
	第7時限	施設の環境調節		
	第8時限	テスト		
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	農業機械		科目番号	基-11
担当教員	田中利幸	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業機械を安全かつ効率的に利用するための知識を習得する。			
授業概要	農業機械の全般的な知識を習得するための講義。			
授 業 計 画	第1時限	農業機械の利用と現状		
	第2時限	農業機械の安全作業、小テスト		
	第3時限	トラクターの構造		
	第4時限	トラクターの点検・整備、小テスト		
	第5時限	内燃機関の構造		
	第6時限	内燃機関の点検・整備、小テスト		
	第7時限	燃料と潤滑油、伝動装置、電動機		
	第8時限	テスト		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	新版 農業機械の構造と利用(農文協、藍房和)			
成績評価法	テスト、受講態度			
その他				

科目名	農畜産物流通		科目番号	基-12
担当教員	農業生産流通課、畜産課	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	10月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農畜産物の需給事情、流通形態、マーケティングなど、流通に係る基礎知識を習得する。			
授業概要	農畜産物の市場流通の歴史や役割、流通の多様化と商品づくりなど、流通形態、マーケティングなど流通に係る基礎知識を講義する。			
授 業 計 画	第1時限	米の消費、生産、需給に関する動向		
	第2時限	麦の消費、生産、需給に関する動向、テスト		
	第3時限	農産物の市場流通の歴史と役割		
	第4時限	農産物流通の多様化と売れる商品づくり、テスト		
	第5時限	家畜・家さんのライフサイクル 香川県の畜産の概況とブランド畜産物		
	第6時限	畜産物流通のしくみ 牛乳、牛肉の流通		
	第7時限	豚肉、鶏肉、鶏卵の流通 牛肉トレサビリティ制度		
	第8時限	テスト		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書				
成績評価法	テスト			
その他				

科目名	農福連携		科目番号	基-13
担当教員	農政局、障害福祉課、農業生産流通課他	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	7月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく農福連携の取組みについて理解をするとともに推進にあたっての課題等について理解を深める。			
授業概要	農福連携の推進や取組みについての現状と課題について、国、県、地域段階における講義及び取組み農業者への現地研修を実施する。			
授 業 計 画	第1時限	全国段階における農福連携の推進方針と取組み等について 中国四国農政局 農村振興部 都市農村交流課 農福連携推進係長 伊村仁志氏 農福連携の広がり・法務省の取組について 法務省 高松矯正管区 更生支援企画課長 五家祐馬氏		
	第2時限	香川県における農福連携の取組みについて(農業生産流通課、障害福祉課) 農業生産流通課 中村智哉主任 障害福祉課 矢嶋佑奈主事		
	第3時限	香川県における農福連携の現状と課題 NPO法人香川県社会就労センター協議会事務局長		
	第4時限	農福連携の働きがいと作業支援の工夫(ポイント) 社会福祉法人ラーフ 障害福祉サービス事業所やまもも 石川浩久 氏		
	第5時限	農福連携実践農業者への現地視察	就労支援B型事業所 ゆめぼけっと	
	第6時限	長谷ぶどう園 代表 長谷真理氏	代表者 榎原さゆり氏	
	第7時限	農福連携実践農業者への現地視察		
	第8時限	仲多度郡琴平町 森井 幹夫 氏		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	授業ごとに資料を配付するとともにパワーポイント等の資料を活用して説明			
成績評価法	授業ごとの小テスト及びレポート、受講態度で評価する			
その他	「農業行政Ⅰ」との選択科目			

科目名	農業行政 I		科目番号	基-14
担当教員	國村義之ほか(農政局香川県拠点)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	7月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	食料・農業・農村の現状と農林水産省の主要施策の概要について理解を深める。 また、グループ討議をとおして学生の考えるきっかけの場をつくり、活発的発言を求める。			
授業概要	食料・農業・農村をめぐる情勢、農林水産省の主要な施策・制度、食の安全・安心、食品表示の基礎的な知識を講義する。			
授 業 計 画	第1時限	食料・農業・農村をめぐる課題と施策		
	第2時限	統計データでみる中国四国の農業の現状について		
	第3時限	農業経営(新規就農、収入保険、輸出等)について		
	第4時限	経営所得安定対策について		
	第5時限	農村振興施策の概要について		
	第6時限	食の安全と消費者の信頼確保について		
	第7時限	みどりの食料システム戦略について		
	第8時限	香川県で有機農業を広げるために必要なこと(グループ討議)		
		⑨1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	授業ごとに資料を配付するとともにパワーポイント等の資料を活用して説明			
成績評価法	効果測定と出席状況で評価する			
その他	「農福連携」との選択科目			

科目名	農業行政Ⅱ		科目番号	基-15
担当教員	農政課、農業経営課	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	4～5月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	認定農業者制度等、農業関係行政機関が推進している施策政策について学習し、経営感覚に優れた担い手の育成につなげる。			
授業概要	農業経営基盤強化法の概要、認定農業者や集落営農、新規就農者などの本県における実態や県の施策などについて講義する。			
授 業 計 画	第1時限	香川県農業の現状		
	第2時限	6次産業化・地産地消の取り組み		
	第3時限	集落営農の推進		
	第4時限	普及センターの役割と活動、農業試験場の研究活動		
	第5時限	農業適正使用、GAP		
	第6時限	環境保全型農業、農地制度		
	第7時限	認定農業者制度と担い手育成支援		
	第8時限	新規就農促進、青年農業者活動支援、テスト		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	関係資料、パンフレットを使用			
成績評価法	試験成績による			
その他				

科目名	食品保蔵・加工学		科目番号	基-16
担当教員	牧野義雄(香川短期大学教授)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	11~12月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	生鮮物としての農産食品の鮮度・品質変化の特徴を把握するとともに、それを踏まえた保存法について理解を深める。食品加工の意義や食の安全を脅かす主な危害要因を把握するとともに、衛生管理の基本的な行動規範を習得する。			
授業概要	生鮮物としての農産食品は一次産品とも呼ばれ、食料品そのもの、あるいは加工食品の原材料として、消費者の食生活を支えている。本講義では、保存が困難な農産食品の鮮度・品質変化と有効な保存法について解説する。続いて、農産食品を原料とする主な加工食品の製造法と、食品が最低限満たすべき条件としての安全性に関する内容について講義する。			
授業計画	第1時限	農産食品の鮮度・品質変化とその定量化法		
	第2時限			
	第3時限	農産食品の保存法		
	第4時限			
	第5時限	主な農産加工品の製造法		
	第6時限			
	第7時限	食中毒とその防止法としての衛生管理		
	第8時限			
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	主にパワーポイントで作成した資料を映写して説明する。			
成績評価法	各授業日にミニレポートを提出すること。成績は4回(25%×4回)のミニレポートで評価する。			
その他	「農業土木と水利」との選択科目			



科目名	農業土木と水利		科目番号	基-17
担当教員	土地改良課	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	11～12月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	農業を行う上で、必要となる農業用排水路やため池、農道などの「農業生産基盤」について、その役割や重要性、また本県の特徴について理解する。			
授業概要	降雨の少ない本県においては、用水開発の歴史は本県農業発達の歴史であるといわれるように本県農業と農業水利は密接な関係があり、農業と農業土木の関係を通して、整備内容やその効果、多面的機能、歴史等について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	香川県の農業の概要		
	第2時限	農業土木の概要		
	第3時限	農業農村整備事業の変遷		
	第4時限	ほ場、農業用排水、農道、ため池等整備		
	第5時限	香川の水		
	第6時限	さぬきのため池、香川用水		
	第7時限	農業水利		
	第8時限	テスト		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	関係資料、パンフレットを使用			
成績評価法	試験成績による			
その他	「食品保蔵・加工学」との選択			

科目名	マーケティング論		科目番号	基-18
担当教員	趙 命来	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	7月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	本講義の目標は、企業のマーケティング活動に焦点を当て、その背後にある論理と実践を深く理解することで、現場でマーケティングをうまく実践するために理論がどのように役立つかを理解することである。			
授業概要	本講義は、マーケティング初学者を対象に、マーケティングの本質や発想、そして企業がどのようにマーケティング活動を展開するのかといったマーケティング・マネジメントに関する基礎理論を解説する。			
授 業 計 画	第1時限	マーケティング発想の経営		
	第2時限			
	第3時限	マーケティングの基本概念		
	第4時限			
	第5時限	マーケティング・マネジメント(製品と広告)		
	第6時限			
	第7時限	マーケティング・マネジメント(価格と流通)		
	第8時限			
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	適宜資料を配布します。			
成績評価法	テスト、レポート、出席状況、受講態度などを総合的に評価します。			
その他				

科目名	マーケティング演習		科目番号	基-19
担当教員	趙 命来	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	10～11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	本演習の目標は、マーケティングの基本概念を活用してケーススタディを分析することで、マーケティングの実践的なスキルを身につけると同時に、問題解決能力を向上させることである。			
授業概要	本演習では、マーケティングのケーススタディを用いて、受講生が個人研究(予習)、グループ討議、クラス討議の3段階を通じて与えられたケース材料に基づき、多面的に分析し、課題を明らかにし、意思決定を行うことで、マーケティングの実践を学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	ガイダンス(演習概要、演習方法、グループ分けなど)		
	第2時限	マーケティング・ショートケース① (グループワーク及び発表)		
	第3時限	マーケティング・ショートケース② (グループワーク及び発表)		
	第4時限	マーケティング・ショートケース③ (グループワーク及び発表)		
	第5時限	マーケティング・ショートケース④ (グループワーク及び発表)		
	第6時限	マーケティング・ショートケース⑤ (グループワーク及び発表)		
	第7時限	マーケティング・ショートケース⑥ (グループワーク及び発表)		
	第8時限	マーケティング・ショートケース⑦ (グループワーク及び発表)		
		㊟1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	ショートケースの資料は事前に配布します。			
成績評価法	出席状況、受講態度、グループワークや討議への積極性、発表などを総合的に評価します。			
その他	マーケティング論を履修することを推奨します。			

科目名	農業経営	科目番号	基-20
担当教員	佐溝尚子	科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年	開講時期	12～2月
単位数	2	必須・選択の別	必須
授業目標	社会環境に対応した次世代の農業ビジネスの基本的な方向とそれを担う経営者の役割、機能について認識させる。		
授業概要	農業経営を構成する要素と変化する社会環境、それに対応するための経営運営、マーケティング等を進めるうえで農業経営者として備えるべき能力について、現地事例などに基づいて講義をする。		
授 業 計 画	第1時限	日本農業の現状	
	第2時限	農業の経営形態と経営目標	
	第3時限	農業経営の運営と合理化	
	第4時限	農業経営の診断	
	第5時限	農業経営をとりまく環境	
	第6時限	農業のマーケティング	
	第7時限	農業経営の設計	
	第8時限	農業経営を支える農業施策	
	第9時限	農業経営の実際	
	第10時限	農業経営事例紹介	
	第11時限	経営者の実際	
	第12時限	経営事例紹介	
	第13時限	経営概論、経営戦略	
	第14時限	経営概論、経営戦略	
	第15時限	経営シミュレーション	
	第16時限	レポート	
	②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	農業経営概論(実教出版、大泉一貫ほか)		
成績評価法	出席評価(40%)、中間テスト評価(40%)、最終レポート(20%)		
その他			

科目名		農業簿記※		科目番号	基-21
担当教員		山下将吾、棚田光亮(税理士)、原ゆきこ(同)、大西勝也(同)		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		1学年		開講時期	9~11月
単位数		2		必須・選択の別	必須
授業目標		農業簿記の基礎を理解する。			
授業概要		仕訳を理解し、農家の日常の取引に基づいて、簡単な記帳及び決算書が作成できるように講義をし、農業簿記の練習問題と解説を行う。			
授 業 計 画	第1時限	農業簿記の概要			
	第2時限				
	第3時限	勘定科目			
	第4時限	現金預金、売掛金、その他資産、その他負債			
	第5時限	減価償却資産、固定資産			
	第6時限				
	第7時限	決算整理			
	第8時限	貸倒引当金、減価償却直接法・間接法			
	第9時限	前払金、前受金、未収金、未払金			
	第10時限	決算書の作成			
	第11時限	農業簿記の基礎知識、記帳方法の復習・練習問題①			
	第12時限				
	第13時限	農業簿記の基礎知識、記帳方法の復習・練習問題②			
	第14時限				
	第15時限	まとめ テスト			
	第16時限				
③1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		農業簿記検定教科書3級(大原出版) 農業簿記検定過去問題集(日本ビジネス技能検定協会)			
成績評価法		試験100%			
その他					

科目名	労務管理※		科目番号	基-22
担当教員	白川博章(社会保険労務士)	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	11～12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業経営者として必要な労務管理に関する法律や実務等の基本的知識を身につける。併せて法令に基づく健康管理や労災補償制度についても学ぶ。			
授業概要	人事・労務管理の具体的内容を概略するとともに、一般的な企業と農業における人事・労務管理について、それぞれの実態と特徴を明らかにする。 さらに「働き方改革関連法」等の近時の法改正が労務管理へ与える影響とその対応について考える。			
授 業 計 画	第1時限	労働法(労働基準法、労働契約法)の総論		
	第2時限	働き方改革関連法等、近時の労働者を取り巻く労働環境について		
	第3時限	労働時間管理と休日について		
	第4時限	年次有給休暇とその他の休暇について		
	第5時限	賃金管理について		
	第6時限	割増賃金の制度について		
	第7時限	労働契約、就業規則と個別労働紛争について		
	第8時限	社会保険、労働保険、その他法律について		
		③1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	労働関係法の要点、労働保険の事務手続き、社会保険ガイド			
成績評価法	出席状況、各時限後の小テスト及び全授業終了後の課題等により判定する。			
その他				

科目名	就農就業ガイダンスⅠ※		科目番号	基-23
担当教員	先進農家ほか	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	通年	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	先進農家等の経験を自らの将来に生かす。 雇用就農や将来自立経営するにあたっての心構えや就職活動を行ううえでの留意点学ぶ。			
授業概要	講話と質疑、グループワーク等による。			
授 業 計 画	第1時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第2時限			
	第3時限	先進農業者に聞く		
	第4時限			
	第5時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第6時限			
	第7時限	ようこそ先輩		
	第8時限			
	第9時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第10時限			
	第11時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第12時限			
	第13時限	インターンシップ		
	第14時限			
	第15時限			
	第16時限			
②1回に2時限または4時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	出席状況、受講態度、レポート			
その他				

科目名	就農就業ガイダンスⅡ※		科目番号	基-24
担当教員	先進農家ほか	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	通年	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	先進農家等の経験を自らの将来に生かす。 雇用就農や将来自立経営するにあたっての心構えや社会人として必要なマナーなどを学ぶ。			
授業概要	講話と質疑、グループワーク等による。			
授 業 計 画	第1時限	就職活動の基本(履歴書、エントリーシートの書き方)		
	第2時限			
	第3時限	先進農業者に聞く		
	第4時限			
	第5時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第6時限			
	第7時限	新規就農者の支援団体の概要と活動内容		
	第8時限			
	第9時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第10時限			
テキスト、参考書				
成績評価法	出席状況、受講態度、レポート			
その他				

②1回に2時限または4時限分を実施する



科目名	国際農業論		科目番号	基-25
担当教員	JICA海外協力隊経験者、佐々木省三	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	5～6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	海外の農業の動向と農業政策の特質について理解を深める。			
授業概要	農業の国際的な現状を学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	国際協力のありかた		
	第2時限			
	第3時限	開発途上国の農業事情		
	第4時限			
	第5時限	農業の成立と環境、農業が醸成する地域文化		
	第6時限	自然・社会環境の変化と世界の食料需給事情、各論、中国の農業事情		
	第7時限	東南アジア特にタイとラオスの農業事情・テスト		
	第8時限			
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	テストと受講態度に加え、講師によってレポート			
その他				

科目名	農業協同組合※		科目番号	基-26
担当教員	香川県農業協同組合職員	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	6～7月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	JA組織の概要を理解する。			
授業概要	JAのあらまし・あゆみ、JAの組織・運営、JA事業と活動についてテキストを使って講義をして、必要に応じてビデオ視聴により理解を深める。			
授 業 計 画	第1時限	JA香川県について・協同理念について	人事部部長	
	第2時限	アグリワークについて JA香川県就農奨学金について	営農部営農振興課	
	第3時限	JA香川県の園芸振興について	営農部園芸指導課	
	第4時限	JA香川県の営農事業(さぬきの米・かがわの麦)	営農部農産指導課	
	第5時限	JAのあらまし、JAの生い立ちと歩み	人事部人事課	
	第6時限	JAの組織・運営、事業と活動	人事部人事課	
	第7時限	総まとめ	人事部人事課	
	第8時限	試験	人事部人事課	
③1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	私たちとJA			
成績評価法	①試験実施 ②受講態度			
その他				

科目名	農業法人と営農組織		科目番号	基-27
担当教員	近藤 弥(農業会議)、太田健司(同)		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年		開講時期	5~6月
単位数	1		必須・選択の別	必須
授業目標	農業・農村の現状と課題、今後の展開方向について学ぶとともに、その中での集落営農組織等の現状生産組織や農業法人(一戸一法人を含む)のあり方について習得する。			
授業概要	全国及び香川県における、土地(農地)と担い手(集落営農を含む)の現状や課題を明らかにし、それらの諸課題に対応するための集落営農組織や農業法人の内容、県下における活動事例を基に、今後の地域農業の維持、発展方向を講義する。また、あわせて食料・農業・農村基本法、農地法、農業経営基盤強化法等による土地と担い手に関する諸政策を講義する。			
授 業 計 画	第1時限	農業・農村の現状と課題、食料・農業・農村農業基本法および基本計画		
	第2時限	農地法、農業経営基盤強化法のあらまし		
	第3時限	集落営農組織とその組織化		
	第4時限	県下の集落営農組織		
	第5時限	農業法人のあらまし		
	第6時限	農業法人の設立・運営		
	第7時限	県下の農業法人の活動事例		
	第8時限	テスト		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	農地法、農地関連法制度、農業法人化マニュアル(全農図書)			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	スマート農業		科目番号	基-28
担当教員	大矢啓三、掛鯛吉洋、三木 洋、川西 勲、 山下将吾、香西修志	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	5～6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業の抱える諸問題を解決する手法として脚光を浴びているスマート農業について、その意義や現状、今後の展望等を学ぶ。			
授業概要	①スマート農業技術の技術が開発が進められている背景を知る。 ②ICT技術やAI、ロボット技術など先端技術を、生産管理から販売管理の行程でどのように活用されているのか、主要な技術と今後の展望について知る。			
授 業 計 画	第1時限	スマート農業とは		
	第2時限	園芸作物とスマート農業①		
	第3時限	園芸作物とスマート農業②		
	第4時限	園芸作物とスマート農業③		
	第5時限	畜産とスマート農業(畜産分野に導入された先端技術)①		
	第6時限	畜産とスマート農業(畜産分野に導入された先端技術)②		
	第7時限	水田作物とスマート農業		
	第8時限	テスト		
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	関連資料、パンフレット等			
成績評価法	テスト、レポート			
その他				

科目名	GAP (Good Agricultural Practices: 農業生産工程管理)		科目番号	基-29
担当教員	数納 朗	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	7月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	GAPを実践することが、農業の現場にとってどのような意義があるのか、授業を受けた学生が自分の言葉で語れるようになる。			
授業概要	GAPとはこうでなければならない、という思い込みをなくすために講義を行い、さらにワークショップでリスク評価の実践を行う。			
授 業 計 画	第1時限	GAP(農業生産工程管理)とはなにか 難しい、GAPの実践はこれだけ		
	第2時限			
	第3時限	GAPの本質、リスク評価の実践		
	第4時限			
	第5時限	さまざまなリスク評価の検討 GAPを活用した農業経営の事例		
	第6時限			
	第7時限	GAPの成り立ちから農業経営での必要性		
	第8時限			
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	特になし。資料を適宜配布する。			
成績評価法	各回で提出させたレポート内容や受講態度を加味し評価する。			
その他				

科目名	GAP演習 (Good Agricultural Practices:農業生産工程管理)		科目番号	基-30
担当教員	高橋秀彰、堤友梨	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	9月、10月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業の現場にとってGAPを実践することの重要性を学び、農業従事の際にGAPを取り入れられるようにする。			
授業概要	グループ分けによるリスク評価をワークショップ形式で実施するとともに、農業経営を想定した経営概況や事故時の対応手順を作成する。			
授 業 計 画	第1時限	ブレインストーミングにより食品安全に関するリスク評価の実施 リスク評価に基づく対策案の作成		
	第2時限			
	第3時限	ブレインストーミングにより労働安全に関するリスク評価の実施 リスク評価に基づく対策案の作成		
	第4時限			
	第5時限	経営概況の作成、事故時の対応手順作成		
	第6時限			
	第7時限	グループ相互による模擬審査		
	第8時限			
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	JGAP総合規則、JGAP農場用管理点と適合基準			
成績評価法	出席状況、受講態度、各授業時間毎の作成物			
その他				

科目名	農業基礎演習		科目番号	基-31
担当教員	田中利幸、高橋秀彰		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年		開講時期	通年
単位数	1		必須・選択の別	必須
授業目標	主要農業機械の構造、操作方法を習得する。			
授業概要	主に使用する農業機械の構造と操作方法を理解、習得するため演習する。			
授 業 計 画	第1時限	刈払機取扱作業員特別教育		
	第2時限	(講師: 林業・木材製造業労働災害防止協会香川県支部)		
	第3時限	※ライセンス取得者は講習補助を行う		
	第4時限	農場実習		
	第5時限	GPS搭載トラクター耕うん演習(中四国クボタ)		
	第6時限	(農場実習)		
	第7時限	トラクターの構造と安全操作演習(MT、AT車)		
	第8時限	トラクターの基本的な操作と走行演習(MT、AT車)		
	第9時限	農業用ドローンの構造と情勢に関する講義(中四国クボタ)		
	第10時限	農業用ドローンの安全操作演習(中四国クボタ)		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書				
成績評価法	受講態度、操作能力			
その他	2班に編成して農場実習の時間に実施し、内容や順序は変わることがある			

科目名	農業基礎実験		科目番号	基-32
担当教員	渡辺二郎・阿部政人・松本匠哉・津田遼平	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4~7月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	土壌の理化学性を理解させることにより、農業の基本となる土について理解を深めさせる。 また、植物の生体反応等の実験を通じて、農学・農業に対する興味を深める。			
授業概要	土壌の理化学性について、測定方法等を実習する。また、農学全般に係る基本的な生物実験を行う。			
授 業 計 画	第1時限	土壌サンプリングと試料調製について(農大野菜ほ場)		
	第2時限			
	第3時限	試料調製とpH、EC測定		
	第4時限			
	第5時限	現場で出来る簡易土壌診断		
	第6時限			
	第7時限	現場で出来る簡易栄養診断		
	第8時限			
	第9時限	土壌微生物の培養		
	第10時限			
	第11時限	微生物の観察と薬剤の効果検討		
	第12時限			
	第13時限	土壌診断に係る分析機器の使用法(東讃普及センター)		
	第14時限			
	第15時限	土壌肥料実験に関するまとめ		
	第16時限	テスト		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	なし			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他	参考書:土壌診断なるほどガイド(農業革新支援センター講義で使用)			



科目名	パソコン簿記演習		科目番号	基-33
担当教員	山下将吾	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	4～6月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	パソコンによる記帳方法や決算書作成方法、経営分析方法等を学ぶ。			
授業概要	パソコン会計のメリットは、入力データが元帳や試算表などに自動転記され、決算・申告までスムーズに行なえること。農業分野で長年の実績のある会計ソフト「農業簿記9」を使い、農業会計業務の理解を深める。			
授 業 計 画	第1時限	パソコン簿記の概要①		
	第2時限	パソコン簿記の概要②		
	第3時限	初期設定①		
	第4時限	初期設定②		
	第5時限	出納帳入力①		
	第6時限	出納帳入力②		
	第7時限	出納帳入力③		
	第8時限	出納帳入力④		
	第9時限	出納帳入力⑤		
	第10時限	出納帳入力⑥		
	第11時限	決算書の作成①		
	第12時限	決算書の作成②		
	第13時限	決算書の作成③		
	第14時限	決算書の作成④		
	第15時限	経営分析①		
	第16時限	経営分析②		
	③1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書				
成績評価法	主に演習時の提出物により評価する。			
その他	「生物工学実験」、「農業機械整備実習」との選択科目			

科目名	農業機械整備演習※		科目番号	基-34
担当教員	(株)中四国クボタ、田中利幸	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	4～6月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	農業機械の点検・整備、修理及びエンジンの構造と整備方法を習得する。			
授業概要	教材を用いた実習を主体			
授 業 計 画	第1時限	エンジンの構造と点検整備(クボタ①)		
	第2時限			
	第3時限	ガソリンエンジンの分解・組立て演習		
	第4時限			
	第5時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習(クボタ②)		
	第6時限			
	第7時限	トラクターの点検・整備、修理演習①		
	第8時限			
	第9時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習(クボタ③)		
	第10時限			
	第11時限	トラクターの点検・整備、修理演習②		
	第12時限			
	第13時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習(クボタ④)		
	第14時限			
	第15時限	管理機、運搬車、刈払い機の点検・整備、修理演習		
	第16時限			
	①1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	ディーゼルエンジン整備マニュアル(中四国クボタ教育指導用資料)			
成績評価法	受講態度			
その他	「パソコン簿記演習」、「生物工学実験」との選択科目			

科目名	生物工学実験		科目番号	基-35
担当教員	村口 浩・植田早紀	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	4～6月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	生物工学の一手法である植物組織培養および遺伝子診断について、培地作成、無菌操作、生長点培養、DNA抽出などの基礎技術を実験を通じて習得する。			
授業概要	生物工学の一手法である植物組織培養および遺伝子診断について、培地作成、無菌操作、生長点培養、DNA抽出などの基礎技術を実験を通じて習得する。			
授 業 計 画	第1時限	オリエンテーション(演習実施方法等)		
	第2時限	実験室清掃、培地作成準備		
	第3時限	培地作成、メス作成		
	第4時限	培地作成、メス作成		
	第5時限	クリーンベンチの使い方、培養練習(アスパラガス無菌播種)		
	第6時限	顕微鏡観察練習(花粉管観察)、メス作成		
	第7時限	培養練習(キク継代)		
	第8時限	メス作成		
	第9時限	培養物生育調査、生長点摘出練習(カーネーション)		
	第10時限	茎頂培養(カーネーション)		
	第11時限	茎頂培養(カーネーション)		
	第12時限	電気泳動用ゲル作製、アスパラガスDNA抽出		
	第13時限	農試見学、アスパラガス雌雄の遺伝子判別		
	第14時限	農試見学、アスパラガス雌雄の遺伝子判別		
	第15時限	鉢上げ、順化(キク、アスパラガス等)、試験管等洗浄、片付け		
	第16時限	鉢上げ、順化(キク、アスパラガス等)、試験管等洗浄、片付け		
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書				
成績評価法	毎回レポートを提出し、評価点の参考とする			
その他	8時50分までに白衣を着用して授業が受けられる態勢にしておくこと 演習の最後に全員で清掃点検を行う 「パソコン簿記演習」、「農業機械整備実習」との選択科目			

科目名	鳥獣害対策演習		科目番号	基-36
担当教員	矢木聖敏、平田早貴子、みどり保全課ほか	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	1月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	作物栽培に大きな被害を与える鳥獣害の現状、被害の特徴、対策について、現地事例や実技を通じて学ぶ。			
授業概要	①県下の鳥獣害の現状や被害防止対策について、現地事例を通じて学ぶ。 ②鳥獣害対策について、関連する法律や実技について学ぶ。 ③狩猟免許取得に向けての知識・技術を修得する。			
授 業 計 画	第1時限	鳥獣害の現状と被害対策について【講義】(経営課・専指)		
	第2時限			
	第3時限	鳥獣害対策に関連する法律と狩猟免許について【講義】(みどり保全課)		
	第4時限			
	第5時限	集落ぐるみの獣害対策【講義】(さぬき市豊田集落代表2名、東讃普及センター)		
	第6時限	ジビエ加工【演習】(富田)		
	第7時限	狩猟の魅力について【講義】(眞鍋和恵)		
	第8時限	テスト(経営課・専指)		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書				
成績評価法	テスト、レポート、受講態度等により総合的に評価			
その他				

科目名	農家実習 I ※		科目番号	基-37
担当教員	先進農家	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	5～7月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	県内の農業、林業、造園業の現状や農業経営等の実態を体験する。			
授業概要	農家実習実施要領による。			
授 業 計 画	第1回	専攻実習説明会		
	第2回	実習先訪問		
	第3回	・		
	第18回	実習先での実習		
	第37回 第38回	報告会(前期、後期合同)		
		⑨実習は1回に4時限分を実施する		
テキスト、参考書				
成績評価法	農家実習報告書、レポート、報告会への参加態度による			
その他				

科目名	農家実習Ⅱ※		科目番号	基-38
担当教員	先進農家	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	10～12月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	県内の農業、林業、造園業の現状や農業経営等の実態を体験する。			
授業概要	農家実習実施要領による。			
授 業 計 画	第19回	専攻実習説明会		
	第20回	実習先訪問		
	第21回	・		
	第36回	実習先での実習		
	第37回 第38回	報告会(前期、後期合同)		
		⑨実習は1回に4時限分を実施する		
テキスト、参考書				
成績評価法	農家実習報告書、レポート、報告会への参加態度による			
その他				

科目名	インターンシップ※		科目番号	基-39
担当教員	先進農家等	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1、2学年	開講時期	通年	
単位数	1(各学年で1)	必須・選択の別	選択	
授業目標	いち早く職業体験することで、卒業後の就農率向上や農業法人、林業、造園業等への就職促進を図る。			
授業概要	インターンシップ実施要領による。			
授業計画	第1時限 第2時限 第3時限 第4時限 第5時限 第6時限 第7時限 第8時限	実習		
	④実習は1回に4時限分を実施する			
テキスト、参考書				
成績評価法	インターンシップ実施申請、実施計画、実施報告書による			
その他	長期休暇中に2日間(8時限)履修で1単位とする			

科目名	特別講義・学校行事		科目番号	基-40
担当教員	関係機関、校内教諭	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	通年	
単位数	1(2学年時と併せて2)	必須・選択の別	必須	
授業目標	社会性、協調性を高める。			
授業概要	特別講義によって社会生活に必要な知識を得るとともに、学校行事を通じて社会活動を行う。			
授業計画	第1時限 第2時限 第3時限 第4時限 第5時限 第6時限 第7時限 第8時限 第9時限 第10時限 第11時限 第12時限 第13時限 第14時限 第15時限 第68時限	入学式、オリエンテーション、学生自治会活動、クラブ活動、健康診断、環境整備、現地研修、スポーツ大会、卒論計画発表会、卒論中間報告会、防火訓練、収穫祭、四国地区意見発表会、卒論発表会、卒業式		
テキスト、参考書				
成績評価法	出席状況と取組み態度による			
その他				



科目名	特別講義・学校行事		科目番号	基-41
担当教員	関係機関、農大教諭	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	通年	
単位数	1(1学年時と併せて2)	必須・選択の別	必須	
授業目標	社会性、協調性を高める。			
授業概要	特別講義によって社会生活に必要な知識を得るとともに、学校行事を通じて社会活動を行う。			
授 業 計 画	第1時限	入学式、オリエンテーション、学生自治会活動、クラブ活動、健康診断、環境整備、現地研修、スポーツ大会、卒論計画発表会、卒論中間報告会、防火訓練、収穫祭、卒論発表会		
	第2時限			
	第3時限			
	第4時限			
	第5時限			
	第6時限			
	第7時限			
	第8時限			
	第9時限			
	第10時限			
	第11時限			
	第12時限			
	第13時限			
	第14時限			
	第15時限			
	第58時限			
テキスト、参考書				
成績評価法	出席状況と取組み態度による			
その他				